

# 令和6年度 自己評価・こども園関係者評価書

令和7年3月1日

社会福祉法人津万 つまこども園

## 1 本園の教育目標

「明るい声が響く 笑顔あふれる楽しいこども園」

- ・たくましく明るい子
- ・考えやりぬこうとする子
- ・笑顔あふれるやさしい子

## 2 本年度重点的に取り組む目標・計画

子ども・保護者・保育者が互いに信頼関係を築き、子どもたちの笑顔あふれる温かな場所となる。

## 3 評価目標の達成及び取り組み状況（10段階評価）

	評価項目	評価	取り組み状況
1	教育及び保育の基本と目標に向かって充実した保育を実践する	8.4	乳幼児期の教育及び保育は、人格形成の基礎を培う重要なものであることを理解し、実践するように努めた。昨年度までの2年間に実施した「エピソード記述」・「ドキュメンテーション」に関する研修の成果により、日々の教育・保育実践に生かすことができるようになってきた。カリキュラム検討委員会や職員会議で定期的に協議しその内容が充実できるよう努めた。
2	子どもの発達を捉えた保育の在り方や幼児への対応	8.3	子どもが興味や関心を示し、主体的に関わる環境を用意するように努めた。また、発達の気になる子どもや支援の必要な子どもについては毎月の職員会議や連絡会で情報交換を行い、対応について共有するようにしている。特に行事に向けての取組の際に、関係の保育者でどのような関わり方をするか協議して、個々に応じた支援について研修を行った。
3	「ねらい」及び「内容」の達成に向けての保育者の資質・能力の向上	8.3	看護師雇用により病児保育事業を開始したこともあり、昨年度まで以上に様々な感染症対策や衛生管理をはじめ、子どもの体調管理に丁寧な対応を心がけた。このような状況において、領域「健康」については十分な資質・能力の向上が見られたと思われる。高齢者や小中学生との交流の機会も昨年度までより多くの機会をとることができた。領域「食育」に関しては、5才児の到達目標をより明確に定め、取り組んでいく必要がある。
4	低年齢児の保育実施上の保育者としての資質と能力の向上	8.7	室内の温度や湿度をこまめにチェックし、子ども一人一人の発達状態や健康状態をよく把握し、細かく観察している。特に、0歳児においては視察訪問でアドバイスしていただいたことを参考に発達段階に即して発達を促す手作りの遊具を設置するなどの工夫をした。また活動しやすい保育室のレイアウトの工夫をした。
5	指導計画の作成・評価・反省	9.1	当園の「めざす子ども像」の達成に向けて、年齢ごとに作成した年間計画について、昨年の反省点に基づいた練り直しを行った。各クラスの担任が、カリキュラム検討会で前月の評価反省をしたり次の月のカリキュラムの検討を行ったり意見交換をしたりした。日々の教育・保育で感じている思いをたくさん出し合い、充実した協議をすることができた。
6	研修と研究、自己評価	7.8	園内研修として「モチベーションアップ」「コミュニケーションカアップ」に関する研修を行った。2～4グループに分け、ほぼ全員の職員が参加することができた。「保育者間の人間関係」を円滑にする「思いが伝わる話し方」についての研修であった。日々の教育・保育実践の充実の基盤となったと思われる。ただ、教育・保育内容に関する研修が昨年度までより少なかったと思われる。
7	子育て支援	7	子育ての悩み等を安心して話せるように、送迎の際、保護者と言葉を交わしたり、連絡帳で情報を交換したりするようにしている。また、保護者からの相談内容などを、担任一人の問題にしないで、園全体で受け止めるようにした。個別懇談を実施し子育て支援に力を注ぐことができた。さらに、困り感のある家庭が相談できるように、主幹保育教諭が子育て相談を担う体制を整え、地域子育て相談機関を設置した。保護者の様々な悩みに対応できるよう、関係機関と連携して取り組んでいくことができるように努めた。

## 4 総合的な評価結果（10段階評価）

評価	理由
8.3	評価項目の達成及び取り組み状況において、概ね達成されている。保育内容においても概ね達成されているが、今後は、自然や身近な事象に関心をもったり動植物の飼育・栽培に意識的に取り組んだりすることに力を注ぎ、戸外活動を充実させていきたい。研修と研究・自己評価においては、教育・保育内容を主に取組った研修内容が必要であると感じているようだ。日常的な研修だけでなく、外部の講師から示唆を得て、それが日々の実践で深まる仕組みを充実していくことが課題である。個別懇談の開催や地域子育て相談機関の設置、病児保育事業の開設などにより、オープン講座の実施など、子育て支援の機会をとるようにした。また、園庭開放も以前より充実してきているが、保護者が園に集まる場づくりの充実が課題である。今後の課題として、新たな地域の関係機関や団体などとの連携及び協力を構築し、地域に必要なこども園として多機能化を図るとともに、教育・保育の質の向上を図っていきたい。

## 5 園関係者の評価

運動会	<p>・子どもにとって、初めての運動会だったので、かなり緊張していましたが、親子競技もたくさん盛り込んでいただいて、楽しめていたように感じます。遊戯室での開催という事もあり、雨天や怪我の心配なく、安心して参観出来ました。楽しい競技企画をありがとうございました。</p>
	<p>・親子共々初めての運動会でドキドキだったのですが、先生方のサポートのおかげで無事乗り切ることができました！ありがとうございました。参観日の時は私の胸に顔を埋めて周りを完全にシャットダウンしていたのですが、今回はずっと抱っこしていただいていたおかげもあってか、周りを見る余裕が出ていたり、少し笑顔も見れたりとちょっぴり成長した姿を見る事ができて嬉しかったです。</p>
	<p>・家でもたくさんダンスの練習をしていて、本番も一番張り切って踊っていました。目標に向かって努力し、本番たくさんの方の前で堂々と踊ることができた事が本人の自信につながるといいなと思います。本人も楽しい運動会だったようなので、よい経験になったと思います。</p>
	<p>・4月からの入園で、つまこども園ではじめての運動会。鼓笛隊では走馬灯のようにこの半年のことが思い出されて、我が子の成長に大泣きしてしまいました。先生方、周りのお友達に本当に恵まれてまだ入園してから半年なんて思えないぐらいの溶け込みようで。。。ここまで仕上げるのに担任の先生をはじめ、他の先生方も本当に大変だったと思います。一生忘れることのできない大切な思い出をありがとうございました。</p>
	<p>・今年も、各クラス種目も多く、見応えがありとても楽しませてもらいました。毎年親子競技があるのもとてもいいと思います。園児たちの嬉しそうなお顔が印象的でした。又、サーキットでは、毎年子供の成長を感じ感動します。</p>
オープン教育・保育	<p>・1歳児クラスのオープン保育は初めて行きましたが、おやつを食べる時間は見る機会がなかったので新鮮でよかったです。保育内容も0歳、1歳の子がみんな楽しめるような内容でとても良かったです。手洗いを自分で率先してするなど成長もよく見られて大変いいオープン保育でした。</p>
	<p>・去年よりもお友達と関わっていて、楽しく園生活を過ごせていると感じました。ゲームのルールや遊び方など先生の話をしっかり聞いていました。また来年も楽しみにしています。</p>
	<p>・楽しそうに製作をしている姿をみてほっこりしました。先生もところどころで一人一人に声をかけている姿が印象的でした。本当に毎日保育園を楽しみに行ってくれているのがよくわかる光景でした。また終了後の看護師の先生の講習はとても勉強になりました。</p>
	<p>・室内での活動と外での活動の様子が両方見れて良かったです。室内では、きちんと座って先生のお話が聞いているか、制作を通して、指示を受けた事が出来るかなど、園での様子を知る事ができました。外遊びの際は、お友達との様子(関わり方など)が見れ、楽しそうに遊ぶ姿が見れて嬉しかったです。</p>
音楽会	<p>・緊張してキラキラ星は固まっていたのですが、鈴を体につけてじっと待っているのを見て、しっかりしてきたなあと感じました。鈴は上手にピアノに合わせて鳴らせていて、頑張っていて練習してくれたんだなと嬉しかったです。観覧は優先席など観やすいように工夫してくださっていて、とてもありがたかったです。</p>
	<p>・全身を使って、大きな声で一生懸命歌っている姿を見て感動しました。鈴の演奏もとても上手で、本人も楽しく演奏できたようで親子共に楽しい音楽会でした。鈴の演奏がとても気に入っていて、帰宅してから家でもタンバリンを使って何度も聞かせてくれました。</p>
	<p>・あじさい組にもなると皆堂々としていて見ている気持ちよかったです！緊張していた様ですが、楽しそうに歌って演奏しているのを見て、成長したなあと感慨深くなりました。</p>
	<p>・日頃から一生懸命練習し、先生方もとても熱心に指導してくださり、こどもたちの出せる力と、最高の笑顔が引き出された音楽会だったと感じました。真剣な表情、照れた表情、とびきりの笑顔、全てが胸を熱くされました。温かく、優しく、時には厳しく寄り添ってくださる先生方と、優しく思いやりのある、そして明るいクラスメイトに恵まれ、さまざまな学びや体験ができています。本当に感謝いっぱいです。</p>
	<p>・練習中から家でも階名で歌ったり音楽会についていろいろと話してくれたりする姿が見られて、前向きに練習できていることが嬉しかったです。合奏の演奏方法やレベルもよく考えていただいていたので、こどもたちも力を発揮しやすかったように思います。こどもの成長が感じられてとても嬉しかったです。</p>

## 6 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	教育課程の作成	これまで園内研修で実施してきた「エピソード記述」・「ドキュメンテーション」に関する研修をもとに、子どもの学びの見とりやそれを言語化し共有していく手法を日常の実践の中で伝え合い、子ども観が深まるよう取り組んだ。さらに、それを生かして、効果的に保護者に子どもの様子を伝える学級だよりとして発信した。
2	安全管理	緊急事態発生に備えて作成し更新した「危機管理マニュアル」を職員間で共有し、職員だけでシミュレーション研修を行うなど、意識の向上を図りつつ、マニュアルのさらなる改善を図る。地震や風水害、感染症等の様々な危機事案に関して、毎月の避難訓練を適切に活用し、状況に応じた対応力を職員・園児に養うようにする。
3	研修と自己評価	「モチベーションアップ」「コミュニケーションカアップ」に関する園内研修は、ほぼ全員の職員が参加することができた。「保育者間の人間関係」を円滑にする「思いが伝わる話し方」についての研修内容が着実に実践できてきている。次年度は、教育・保育内容をテーマとして、職員間のコミュニケーションを兼ねた研修を実施し、その内容が日常の実践の中で深まるようにしたい。
4	保護者支援	地域子育て相談機関としての充実をさらに図り、保護者の子育ての悩みに対して、適時に適切な保護者支援を行うことができる体制をさらに整えていく。